

大山岬周辺では、

災害のたびに生活道としての機能が遮断されます。

土砂崩壊



平成10年5月の土砂崩壊では約57時間にわたり通行止め

越波による被害



平成16年8月30日の台風16号の際には、越波による浸水・転石で約5時間にわたり通行止め

## 大山道路の必要性

大山道路は、広域交通ネットワークを形成し、安芸市下山～河野における災害時の交通途絶を回避します。

平成10年以降の全面通行止めは、当該区間(L=2km)に集中！  
延べ約80時間

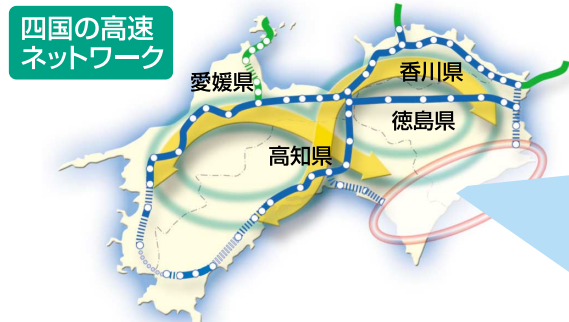
### 平成10年以降の災害

発生日	通行止め時間	理由
平成10年 5月16日	56時間55分	土砂崩壊(7,000m <sup>3</sup> )
平成10年 6月25日	6時間30分	崩壊の恐れ
平成10年 6月25日	5時間35分	土砂崩壊(300m <sup>3</sup> )
平成13年 5月 8日	4時間00分	路面冠水(片側通行規制)
平成15年 5月18日	—	落石による仮設防護柵設置
平成15年 7月19日	6時間20分	土砂流出(片側通行規制)
平成15年12月22日	—	落石による仮設防護柵設置
平成16年 8月30日	4時間45分	越波による路面冠水
平成16年10月20日	5時間45分	越波による路面冠水
平成20年 6月12日	2時間18分	落石(片側通行規制)

赤字：全面通行止め 黒字：片側通行止め

## 四国8の字ネットワークの空白地帯を解消！

四国8の字ネットワークは、平成12年3月に、4県の県庁所在地を結ぶ「X(エックス)ハイウェイ」が完成し、さらに四国東南部及び西南部への延伸が進められています。しかし、徳島県南部～高知県東部の四国東南部には、高規格幹線道路の計画が無く、阿南安芸自動車道は地域高規格道路として、高規格幹線道路の空白地帯を補完し、四国の骨格軸となる「四国8の字ネットワーク」を形成します。



### 四国8の字ネットワークの形成率 平成21年3月末現在

県	形成率
高知県	約37%
徳島県	約56%
愛媛県	約73%
香川県	100%

### 地域高規格道路 阿南安芸自動車道の概要



○●○計画路線 □□□調査区間 ■■■整備区間 ———供用区間 〰〰〰高知自動車道 〰〰〰〰〰高知東部自動車道

地域高規格道路 阿南安芸自動車道 国道55号

延長 2.0km

# 大山道路

OYAMA ROAD INFORMATION

国土交通省 四国地方整備局  
土佐国道事務所 [高知東部推進チーム]  
〒780-0055 高知市江陽町2番2号  
[代表] TEL(088) 884-0359  
[直通] TEL(088) 885-4830 FAX(088) 885-1491  
<http://www.skr.mlit.go.jp/tosakoku/>

●道路に関するお問い合わせは  
「道の相談室」 ☎0120-106497  
[www.skr.mlit.go.jp/road/michi/](http://www.skr.mlit.go.jp/road/michi/)

# 大山道路 計画概要図



- 凡例**
- 国道 (Red line)
  - 県道 (Yellow line)
  - 地域高規格道路供用区間 (Green line)
  - 地域高規格道路整備区間 (Green dashed line)
  - 浸水区域 (Blue shaded area)

s=1/40,000 0m 500m 1,000m 1,500m 2,000m 2,500m 3,000m

※この地図は、国土地理院長の承諾を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平21四復、第2号)



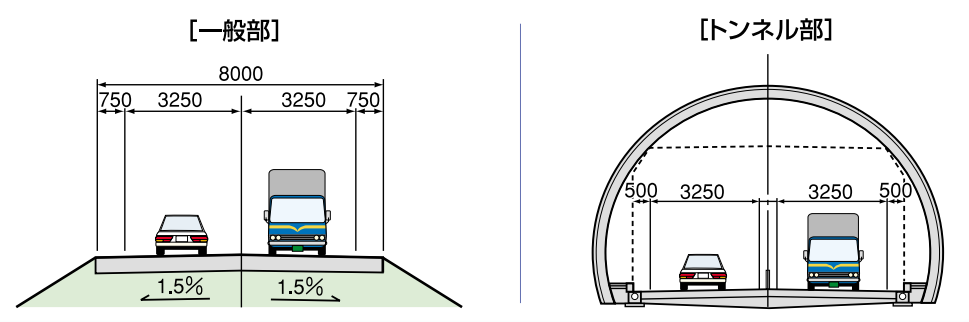
## 大山道路の概要

- **路線名** 国道55号 大山道路 (地域高規格道路 阿南安芸自動車道)
- **事業化** 平成16年度
- **区間** (自) 安芸市下山 (至) 安芸市河野
- **延長** 2km
- **車線数** 2車線
- **構造規格** 第3種第2級
- **設計速度** 60km/h



## 標準断面図

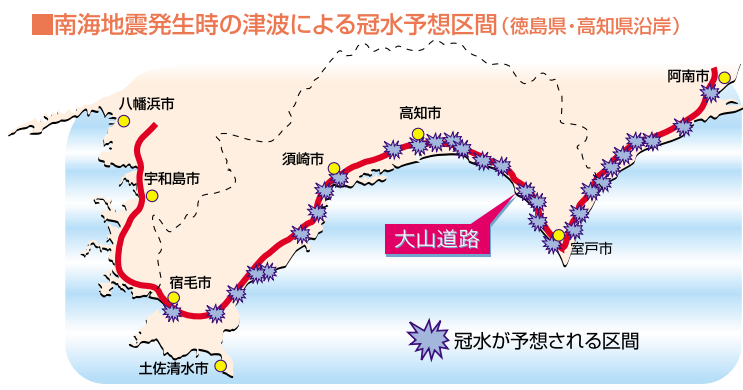
単位/mm



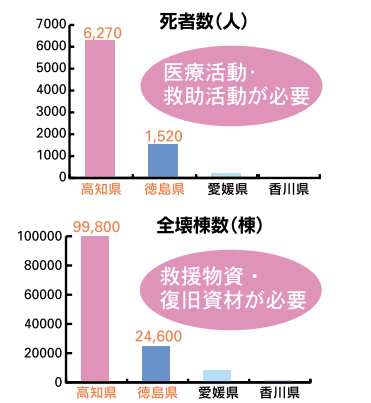
## 信頼できる「命の道」を確保！

四国東南部は、東南海・南海地震で最も大きな被害が想定される地域の一つです。現在、この地域では国道55号が唯一の幹線道路として地域の人々の暮らしを支えています。しかし、徳島県美波町や、高知県室戸市には大雨などによる異常気象時通行規制区間が指定されており、大規模地震時には津波による道路の寸断も懸念されています。

阿南安芸自動車道は日常の安全・安心な暮らしを支え、災害時には避難活動・緊急輸送の重要な役割を担う、「命の道」となります。



### 東南海・南海地震の四国内における被害想定



中央防災会議「東南海・南海地震に関する資料」より

●交通量は平成17年度道路交通センサスデータによる(平日)  
※浸水区域は平成11年度高知県第1次調査結果(堤防等が機能しない場合)を転写したものである。